

【授業科目】

平和学

【英訳名】

Peace Studies

【授業題目】

平和学

【担当教員】

蓮井誠一郎

【所属】

人文学部

【クラス】

M0クラス

【開講学期】

後期

【単位数】

2.0

【曜日・時限】

金 4

【対象年次・学生】

2年（06L以降入学者）

【備考】

LB070

【概要】

テロや戦争、貧困、環境問題などはなぜ起こるのか。平和学の視点から、その疑問を解くことを試みます。開発によって世界を豊かにする、またそれを可能だとする開発主義は、近代世界システムという不平等な世界構造において、多くの問題の主因です。授業では、これらの問題の基本的なとらえ方や考え方を中心に学びます。

【キーワード】

平和、構造的暴力、環境問題、開発、世界システム

【到達目標】

平和学の基礎的な理論の立場から、現代世界における平和、環境、開発についての諸問題の構造を理解し、その克服法について、自分なりに考えることができるようになること。

【授業計画】

- (1) ガイダンス
- (2) 平和学における平和
- (3) 構造的暴力の発見とその意義(1)
- (4) 構造的暴力の発見とその意義(2)
- (5) サブシステムとは何か(1)
- (6) サブシステムとは何か(2)
- (7) 開発主義とは？(1)
- (8) 開発主義とは？(2)
- (9) 近代世界システム(1) 構造
- (10) 近代世界システム(2) 特質
- (11) ジェンダーと生命の国際政治(1)
- (12) ジェンダーと生命の国際政治(2)
- (13) 環境と平和の関係～環境平和学へ(1)
- (14) 環境と平和の関係～環境平和学へ(2)
- (15) 脱「開発」の展望

【履修上の注意】

復習として、教科書の該当部分を読むことを勧めます。主な関連科目は国際社会コースの諸科目と環境社会学。遅刻は30分をこえると出席と認めない。オフィスアワーは月曜昼休みと金曜3限目。メールなどで予約すれば随時。授業は、受講生諸君とのやりとりをしながら進めます。毎回レスポンスシートに記入をしてもらい、それに教員がコメントします。また少人数グループによるディスカッションなども用意しています。

【成績の評価方法】

16回目の試験は行いません。ガイダンスをのぞく、それまでの毎回のレスポンスシート記入で100%という割合で評価します。また、学内外のイベントで、講義のテーマに関連するものに参加し、それをレポートとして提出することで、学外学習として認定し、ボーナス点を与えます。

【教科書・参考書】

教科書：『環境平和学』郭洋春・戸崎純・横山正樹編（法律文化社、2005年）2000円＋税